

第 7 章 教育研究等環境

1. 現状の説明

(1) 教育研究等環境の整備に関する方針を明確に定めているか。

【評価の視点】

- ・ 学生の学習および教員による教育研究環境整備に関する方針の明確化
- ・ 校地・校舎・施設・設備に係る大学の計画

《大学キャンパス・ホスピタル再編事業について》

(資料7-1 順天堂だより 「No.254号」、「No.256号」、「2013新春特別号 No.268号」)

- 1) 創立175周年記念事業である大学キャンパス・ホスピタル再編事業は、建物の解体を伴うため、施設内の機能を他の建物へ移転させ（原形質流動）、病院の稼働率維持と教育研究活動の継続性を確保することを方針として定めている。また、同事業により、本学の財務構成が悪化しないよう、事業原資は手元資金で賄う方針である。
- 2) 法人本部に大学キャンパス・ホスピタル再編事業事務局を置き、各地区の中長期教育研究環境整備計画案の実行を組織的に支援する方針である。各キャンパス周辺の土地・建物等の取得に当たっては、取得の必要性を精査し、取得の手続きを支援している。
- 3) 本郷・お茶の水キャンパスにおいて、キャンパス機能・病院機能の再編を進めている。医学部附属順天堂医院の建替えに続き、順次、大学用途建物の建て替えに着手する計画である。大学本部、大学院や医学部の教学部門をセンチュリータワーに集約するとともに、国際的な研究・教育拠点となる新研究棟（A棟）の建設計画を進めている。
- 4) 医学部附属順天堂医院については、世界に誇れる時代をリードするエコホスピタルの完成を目指している。B棟高層棟（免震建物）が2013（平成25）年12月、B棟-1号館上空通路が2014（平成26）年4月、D棟が2014（平成26）年5月に竣工し、B棟低層棟新築工事、C棟新築工事、B棟Ⅱ期-9号館間の上空通路、C棟・D棟間の連絡通路（地上・地下）等の各工事がそれぞれ順調に進捗している。
- 5) B棟高層棟は、日本の建築環境総合性能評価システム（CASBEE）評価で最高位のSランク基準で建築した。また、米国の建築環境性能評価システム（LEED）において、病院では国内初のゴールド認証を受けるべく申請中である。
- 6) 本郷・お茶の水キャンパスの教学部門については、国際教養学部開設に伴い、新規に取得した建物を第2教育棟（仮称）として2015（平成27）年3月に整備完了した。新研究棟の整備計画を進めるために、7号館・8号館の教育・研究機能移転として、学術メディアセンター、学習室、学生カンファレンスルーム、教職員学生食堂、会議室等をセンチュリータワーの低層・中層階へ、8号館Aの実験諸室（RI、電子顕微鏡、SPF施設等）を10号館他へ移転するための改修工事並びに移転作業が完了した。

《施設・設備の維持・管理について》

- 1) 教育理念・目的に基づく教育研究を行うために、学生や教職員等にとって安全・安心で利用しやすい施設・設備を整備し、適切な管理を行い、キャンパス・アメニティを向上させることを教育研究環境整備の基本方針としている。
 - (1) 建物の耐震化は安全・安心の基本的要素であり、耐震診断により耐震性能が不足すると判定された建物については、順次更新する。更に天井等の非構造部材の耐震化についても現状を再評価し、必要に応じて対処する。
 - (2) 学生数の増加、研究の高度化・多様化に対応する教育研究施設の整備に向け、本郷・お茶

第7章 教育研究等環境

の水キャンパス及び浦安キャンパスの教育・研究棟の再整備に着手するほか、学部間の相互利用など既存施設の有効利用を図る。

- (3) 日常的維持管理は、外部委託の活用を基本とし、専門性の高い設備の運転、保守点検等により、快適な学習、研究、医療環境を提供するとともに防災機能の維持、省エネルギーの実現を目指す。
- 2) 「省エネルギー法」に基づき、CO₂の排出量を減らすために省エネルギー推進委員会を設置し、省エネルギー推進活動に取り組んでいる。本郷・お茶の水キャンパスは東京都の「総量削減義務と排出量取引制度」の適用を受けており、対基準排出量8%削減を達成するために、設備投資計画を含む地球温暖化対策計画書を作成している。2015（平成27）年度から東京都の削減目標が17%に強化されるため、照明のLED化、動力・熱源機器の高効率化などハード面の対策を進めるとともに、全学的に教職員の省エネ啓蒙に努めている。

《教育研究環境の整備について》

（資料7-2 平成27年度 予算編成方針）

- 1) 大型の教育装置及び教育基盤設備に関する整備方針を次のとおり定めている。
 - (1) 教育等又は学生の実験・実習に必要な機械、器具、その他の設備であること
 - (2) 当該装置・設備の使用が教育課程上明確に位置付けられ、その使用により得られる教育上の効果が著しいものであること
 - (3) 大学の設備マスタープランに基づいた計画的な投資であること
- 2) 大型の研究装置及び研究設備に関する整備方針を次のとおり定めている。
 - (1) 教授、准教授その他研究に従事する職員が職務として行う学術の基礎的研究又は大学院の学生の研究指導に必要な機械、器具、その他の設備であること
 - (2) 研究の共同性及び研究成果の開放性があること
 - (3) 大学の設備マスタープランに基づいた計画的な投資であること
- 3) 戦略的研究基盤形成支援事業に関する整備方針を次のとおり定めている。
 - (1) 当該プロジェクトの内容、効果に先端性、独創性があること
 - (2) 研究代表者及び研究グループの研究実績・研究能力の評価が高いこと
 - (3) 既存の施設、設備等の研究環境及び、新たに整備する研究施設、装置、設備と当該プロジェクトとの関連性・整合性があること
 - (4) 研究の共同性及び研究成果の開放性があること

《ICT 教育研究基盤整備について》

- 1) ICT化教育研究基盤整備に関する方針を「順天堂大学 ICT化戦略」として定めている。グローバルな視点から積極的に社会にかかわり、世界的な研究・教育・臨床拠点として、次世代をリードする諸活動を展開するために基盤整備を行う。

（資料7-3 順天堂大学 ICT化戦略）

《各学部・研究科における教育研究等環境整備に関する方針について》

- 1) 各学部・研究科では、教育・研究上の特性を考慮し、それぞれが教育研究環境整備に関する方針を定めている。

（資料7-4 各学部・研究科の教育研究等環境整備方針）

(2) 十分な校地・校舎および施設・設備を整備しているか。

【評価の視点】

- ・校地・校舎等の整備状況とキャンパス・アメニティの形成
- ・校地・校舎・施設・設備の維持・管理、安全・衛生の確保

《大学キャンパス・ホスピタル再編事業について》

1) 平成 23～27 年度の不動産取得の実績は下表の通りである。 (単位：m²)

年度	土地面積	建物延べ面積
2011(平成 23)年度	2,287.02	7,897.78
2012(平成 24)年度	11,090.49	7,594.70
2013(平成 25)年度	11,467.11	5,892.90
2014(平成 26)年度	2,166.98	2,625.37
2015(平成 27)年度	449.74	1,069.06
5 年間合計	27,461.34	25,079.81

2) 平成 23～27 年度の再編事業の進捗状況は下表の通りである。同事業の適切性は、理事長を議長とする再編事業推進会議（毎月 1、2 回開催）により検証が行われている。また、理事長を議長とする大学運営連絡協議会にて、事業の進捗にあわせて検証が行われている。広報誌「順天堂だより」や「事業報告書」等においても、進捗状況が報告されている。

(資料 7-5 平成 23 年度 事業報告書 「22. 創立 175 周年記念事業について」)

(資料 7-6 平成 24 年度 事業報告書 「21. 創立 175 周年記念事業について」)

(資料 7-7 平成 25 年度 事業報告書 「19. 大学キャンパス・ホスピタル再編事業計画について」)

(資料 7-8 平成 26 年度 事業報告書 「19. 大学キャンパス・ホスピタル再編事業計画について」)

(資料 7-9 平成 27 年度 事業報告書 「24. 大学キャンパス・ホスピタル再編事業計画について」)

2011(平成 23)年度	・新病棟 (B 棟) 新築工事に着手
2012(平成 24)年度	・4 号館に増築する D 棟の建物設計、施工会社選定 ・センチュリータワー低層階を教学用途として改修 ・浦安病院増床の許可を得、近隣土地・建物を取得し、新病棟の建築設計を行った
2013(平成 25)年度	・B 棟高層棟が竣工 ・D 棟新築工事に着工 ・3 号館跡に建設する C 棟の実設計が完了 ・上空専用通路竣工(1 号館・B 棟) ・7・8 号館を建て替え新研究棟 (A 棟) を建設する計画に着手 ・センチュリータワー高層階を法人本部として整備 ・日本医学教育歴史館 (センチュリータワー17 階) の施設整備工事 ・さくらキャンパスのグラウンド人工芝化、水泳プールの屋内化工事

第7章 教育研究等環境

2014(平成 26)年度	<ul style="list-style-type: none"> ・ B 棟高層棟竣工後の 2 号館・3 号館病棟移転完了 ・ 2 号館解体が完了して、B 棟低層棟建設工事に着手 ・ 3 号館解体が完了して、C 棟建設工事に着手 ・ D 棟が竣工 ・ 新研究棟の基本設計が完了し、実施設計・施工会社選定中 ・ センチュリータワー地下 1 階サーバー室移転改修工事完了 ・ 油坂上空通路、C・D 間通路（地下・地上）設置に関わる基本設計・実施設計着手 ・ 7・8 号館解体に伴うサテライト施設への移転改修工事 ・ レスポワール湯島寮建設工事の着手 ・ さくらキャンパスの陸上競技場トラックの改修工事
2015(平成 27)年度	<ul style="list-style-type: none"> ・ レスポワール湯島寮が竣工 ・ 油坂上空通路、C・D 間通路（地下・地上）設置に関わる施工会社選定、同工事に着手 ・ 7・8 号館解体に伴うセンチュリータワー、10 号館等への移転改修工事 ・ 新研究棟の実実施設計着手 ・ 7 号館、8 号館の解体工事に着手 ・ B 棟低層棟新築工事 ・ 横断歩道橋架替工事 ・ C 棟新築工事

3) 本郷・お茶の水キャンパスにおいて、2016(平成 28)年度からの大学院医学研究科定員増に対応するため、2015(平成 27)年 8 月、160 名を収容できるよう既存教室の拡張工事を行った。

《大学設置基準上必要な校地・校舎について》

1) 大学全体では、大学設置基準上の必要校地 (68,484 m²) に対し (294,732 m²) で 4.30 倍の校地を保有しており、同基準上必要校舎 (75,895 m²) に対し (94,793 m²) で 1.25 倍の校舎を保有している。大学全体及び各キャンパスにおいて、大学設置基準を上回っている。各キャンパスの状況は次のとおりである。

(資料 7-10 校地、校舎、講義室・演習室等の面積 (基準日: 2016 年 3 月 31 日))

- (1) 本郷・お茶の水キャンパス (医学部・国際教養学部) の校地は、同基準 (42,484 m²) に対し (43,282 m²) で 1.02 倍を保有している。校舎は同基準 (57,550 m²) に対し (63,404 m²) で 1.10 倍を保有している。20 の教室、54 の演習室、3 つのラーニングcommons (学生用の共有自主学習スペース) が敷地内に整備されており、都心部の限られた立地条件や、敷地内に附属病院も併設している点を考えると十分に基準を満たしていると言える。
- (2) さくらキャンパス (スポーツ健康科学部) の校地は、同基準 (13,200 m²) に対し (181,696 m²) で 13.76 倍を保有している。校舎は、同基準 (9,090 m²) に対し (14,221 m²) で 1.56 倍を保有している。20 の講義室、4 つの演習室、3 つの学生用自習室が整備されている。
- (3) 浦安キャンパス (医療看護学部) の校地は、高洲地区の現キャンパスおよび移転予定の日の出地区を合わせると、同基準 (8,000 m²) に対し (51,503 m²) で 6.44 倍を保有している。校舎は同基準 (5,123 m²) に対し (9,414 m²) で 1.84 倍を保有している。現高洲地区

第7章 教育研究等環境

のキャンパスは2つのマルチメディア教室・CALL教室を含む39の教室・演習室・自習室が整備されている。(2015(平成27)年12月にD棟(大教室棟)及びE棟(演習室棟)が竣工し、教室が2室、演習室が9室新たに整備された。)

- (4)三島キャンパス(保健看護学部)の校地は、同基準(4,800 m²)に対し(18,251 m²)で3.80倍を保有している。校舎は、同基準(4,132 m²)に対し(7,754 m²)で1.88倍を保有している。6つの教室、12の演習室、2つの自習室が整備されている。

《施設・設備の維持・管理について》

- 1)本郷・お茶の水キャンパスにおいては、大学キャンパス・ホスピタル再編事業計画により7号館、8号館A、8号館Bを解体工事中である。これにより、主要な大学用途建物群における旧耐震建物はすべて更新されることとなる。この建替えに伴い、取り壊される建物内の各部門・施設は、既存の9・10号館、センチュリータワー及び周辺に取得した建物に分散移転を行った。建替え期間中においても、教育研究環境を維持することを第一に移転先の施設整備を進めている。
- 2)建築基準法、消防法等による建築、設備に関する法定点検・報告はもとより日常的な保守点検による故障の回避、安全の確保に努めている。空気環境測定、飲料水水質検査等、基礎的な衛生環境測定を行うことにより環境維持に努めている。また、LCC(ライフサイクルコスト)データを活用した中長期修繕計画のもと、老朽化に起因する故障あるいは機能低下の恐れがある設備機器の計画的更新を進めている。
- 3)各キャンパスの施設・設備の維持・管理・運営は、各事務部門が責任部署となっており、専門性が高い施設・設備の維持管理及び清掃や産業廃棄物の処理等の業務は外部委託している。毎月、委託業種ごとに、業務評価委員会を開催し、業務の適切性について検証している。

《教育研究環境の整備について》

- 1)2015(平成27)年度に整備した大型の教育装置及び教育基盤設備は次のとおりである。教育の質の向上、全学的な教学体制の整備を達成するために、浦安キャンパスの施設再整備を行った(私立大学等教育研究活性化設備整備事業)。また、学生に基礎的な遺伝学から最先端のゲノム医学・医療教育までの学習を可能とするため実習施設の整備を行った(教育研究施設・教育装置)。
 - (1)私立大学等教育研究活性化設備整備事業
 - ①キャンパス間連携を取り入れたICT活用アクティブ・ラーニング環境整備事業
 - (2)教育研究施設
 - ①順天堂ゲノム医学教育研究部門整備事業
 - (3)教育装置
 - ①順天堂ゲノム医学医療教育研究装置一式
- 2)2015(平成27)年度に整備した大型の研究装置及び研究設備は次のとおりである。本学の複数の研究者が幅広い研究用途で使用できるよう共用設備を充実させた。
 - (1)研究装置
 - ①細胞培養装置BioStationCT低酸素セット一式
 - ②マルチプレックス細胞機能解析装置一式
 - ③歩行走行動作解析装置一式
 - ④レーザーアブレーション誘導結合プラズマ質量分析装置

第7章 教育研究等環境

3) 2015 (平成 27) 年度に戦略的研究基盤形成支援事業において整備した大型の研究装置及び研究設備は次のとおりである。各プロジェクトの遂行に必要な研究装置・研究設備を整備し、効果的に活用できるよう体制を構築した。

(1) スポーツロジックセンター

① ヒューマンカロリーメーターチャンバーシステム

(2) ゲノム・再生医療センター

① iPS・体細胞バンク用システム

(3) 静岡災害医学研究センター

① 静岡災害医学研究センター (施設整備)

② DHK 3次元動作解析/床反力計測システム

③ メラ遠心血液ポンプ装置 (HAS-CFP)

④ 実験動物飼育システム一式

(資料 7-11 平成 27 年度 教育・研究装置及び教育基盤・研究設備一覧)

4) 2015 (平成 27) 年 10 月 7 日、本郷・お茶の水キャンパスのセンチュリータワー南棟 11 階に「Juntendo Medical & Technology Simulation Center」を開所した。当センターは、学生・医療従事者のスキルや多職種間でのチーム医療のトレーニングを通して、医療の質と患者安全を向上させることを目的として設立された。血管治療シミュレータ 2 台、腹腔鏡シミュレータ 2 台、子宮鏡シミュレータ 1 台、成人用患者シミュレータ、幼児用患者シミュレータ等を整備している。

5) 2015 (平成 27) 年 5 月、さくらキャンパスの陸上競技場の全面改修工事が完了し、国際陸上競技連盟 (IAAF) が定める国際基準「class1」を満たし、国際大会にも対応可能な最高ランクの陸上競技場となった。

6) 2016 (平成 28) 年 1 月、さくらキャンパスに新女子学生寮 (8 階建) 建設工事に着手した。2017 (平成 29) 年 2 月末完成予定で、約 240 名を収容することが可能となる。

7) 2016 (平成 28) 年 3 月、さくらキャンパスにおいて、体操競技場の準備工事に着手した。2017 (平成 29) 年 3 月の竣工に向けて順調に工事が進行している。

《 ICT 教育研究基盤整備について 》

1) 本郷・お茶の水キャンパスでは、センチュリータワーを中心として大教室、中教室、小教室に AV 設備を完備している。2015 (平成 27) 年度は、医学部定員増対応のための既設教室 ICT 機器拡充と 21 世紀 COE プログラムや大学院教育改革支援プログラムを土台とした世界的大学院教育拠点形成のための教室 (2 室) を追加した。また、マルチメディア教室、形態系実習室、ラーニングコモンズを設置している。各キャンパス相互に遠隔講義が実施できる遠隔講義システムを導入しており、資料配布システムの導入、センチュリータワー及び 10 号館の全館無線化によるモバイル対応、Gmail 導入によるクラウド活用を積極的に行っている。また、医学部附属病院の各病棟に学生実習専用の電子カルテ端末を設置している。

2) さくらキャンパスでは、大教室、中教室に AV 設備を完備している。マルチメディア教室を設置している。キャンパス間遠隔講義システムを導入している。

3) 浦安キャンパスでは、大教室、中教室、実習室に AV 設備を完備している。マルチメディア教室を設置し Call システムを導入している。キャンパス間遠隔講義システムや授業収録と連携したレスポンスアナライザーを導入している。

第7章 教育研究等環境

- 4) 三島キャンパスでは、大教室、中教室、実習室に AV 設備を完備している。マルチメディア教室を設置し Call システムを導入している。キャンパス間遠隔講義システムを導入している。

《各学部・研究科における教育研究環境整備状況》

- 1) 各学部・研究科では、教育・研究上の特性を考慮し、十分な施設・設備を整備している。ラーニングコモンズや ICT 環境の整備、自習室の運用上の配慮等、キャンパス・アメニティを高める各種取り組みを行っている。

(資料 7-12 各学部・研究科の教育研究等環境整備概要)

(3) 図書館、学術情報サービスは十分に機能しているか。

【評価の視点】

- ・ 図書、学術雑誌、電子情報等の整備状況とその適切性
- ・ 図書館の規模、司書の資格等の専門能力を有する職員の配置、開館時間・閲覧室・情報検索設備などの利用環境
- ・ 国内外の教育研究機関との学術情報相互提供システムの整備

- 1) 図書館は、東京都文京区にある医学部・国際教養学部・大学院医学研究科の本郷・お茶の水キャンパス学術メディアセンター(以下、本郷)と千葉県印西市にあるスポーツ健康科学部・スポーツ健康科学研究科のさくらキャンパス学術メディアセンター(以下、さくら)、千葉県浦安市にある医療看護学部・医療看護学研究科の浦安キャンパス学術メディアセンター(以下、浦安)、静岡県三島市にある保健看護学部の三島キャンパス学術メディアセンター(以下、三島)から成る。図書や雑誌の所蔵確認や貸出返却等のサービス業務は、4 キャンパス間でネットワークを配し、一括して運用している。資料の貸出返却等は各キャンパスどこからでも可能である。

(資料 7-13 本郷・お茶の水キャンパス学術メディアセンター利用案内)

(資料 7-14 さくらキャンパス学術メディアセンター利用案内)

(資料 7-15 浦安キャンパス学術メディアセンター利用案内)

(資料 7-16 三島キャンパス学術メディアセンター利用案内)

- 2) 本学医学部附属病院について、順天堂医院以外の静岡病院、浦安病院、順天堂越谷病院、順天堂東京江東高齢者医療センター、練馬病院には、それぞれの病院図書室を置いている。本郷が中心となってサービスを支援しており、附属病院からも学術メディアセンターのウェブサイトを利用できるようネットワークが構築されている。
- 3) 年間貸出冊数は、2013(平成 25)年から大きな変化なく推移し利用されている。近年電子ジャーナルの利用環境の整備に伴い、洋雑誌プリント版は減少しているが、電子化が進んでいない図書や和雑誌は変化なく利用されている。電子ジャーナルは、本郷が一括して利用の契約を行っている。4 キャンパスをはじめ各附属病院からも利用できる環境を整備している。
- 4) 学術メディアセンターの運営は、各学術メディアセンターに運営委員会を設置し、運営に係る事項の決定や雑誌・図書等の選定に当たっている。図書の選定に当たっては、各学部の教育要項や医学部の基礎・臨床統合講義集に収載の図書を購入し、授業等の活用と予習復習ができるよう整備し、サービスに努めている。電子ジャーナルの購入は、定期的なアンケート調査に基づき利用頻度や購入価格を考慮し、新規ジャーナルの収集に努めている。電子

第7章 教育研究等環境

ジャーナルは、資料購入費の約9割以上を占め、毎年10%前後値上がりしているが、NPO法人日本医学図書館協会と大学図書館コンソーシアム連合(JUSTICE)に加盟しており、共同購入方式を活用し適正価格での購入を図っている。

5) 図書、資料の所蔵数は次表のとおりである。

(資料7-17 図書、資料の所蔵数及び受け入れ状況)

キャンパス	図書冊数	定期刊行物の種類	視聴覚資料の所蔵数
本郷	126,443	3,307	198
さくら	110,455	1,500	1,676
浦安	34,069	195	1,180
三島	15,030	191	628
合計	285,997	5,193	3,682

6) 過去3年間の図書受け入れ状況は次表のとおりである。本郷は国際教養学部の基本図書の受入のため増加している。さくら、浦安、三島の減少は、洋雑誌プリント版から電子ジャーナルへの移行によるものである。電子ジャーナルは、26,745種類となっている。

キャンパス	2013(平成25)年度	2014(平成26)年度	2015(平成27)年度
本郷	708	671	1,500
さくら	751	663	622
浦安	727	643	711
三島	1,831	2,178	890
合計	4,017	4,155	3,723

7) 各キャンパスの学術メディアセンターの規模・設備等は、以下の通りである。

キャンパス	延床面積 m^2	複写機台数	端末機台数
本郷	1,164.08 m^2	6	26
さくら	944.38 m^2	2	21
浦安	615.59 m^2	3	28
三島	373.16 m^2	2	27

(1) 本郷・お茶の水キャンパス学術メディアセンター

- ① センチュリータワー9階にあり、閲覧室、利用者用端末、新着雑誌、図書及び事務室が配置してある。センター内の窓際には個人用キャレルを設置してある。
- ② 入口には、入・退館システムを設置している。センター内には無線LANが設置してあり、利用者持参のPCが利用できる環境が整備されている。

(2) さくらキャンパス学術メディアセンター

- ① 3階建ての独立棟で、1階には、書庫、グループ・ルーム、事務室がある。2階には新着雑誌、視聴覚資料、参考書、辞典類、一般図書と閲覧席、受付カウンター、ラーニング・commons、事務室がある。3階には学生図書、専門図書、閲覧席がある。2014(平成26)年3月には、2階の書棚を低くし、入口から全体を見渡せるよう改装した。
- ② 入口には持ち出し防犯ゲートシステムを設置している。センター内に無線LANを設置し、利用者持参のPCが利用できる環境が整備されている。

第7章 教育研究等環境

- ③1階グループ・ルームには、大型ディスプレイを備えたマルチメディア装置を設置している。
- ④教員・学生に要望調査を実施し、図書・学術雑誌・電子情報等の選定の参考としている。
- ⑤地域への開放については、公共図書館の紹介状と、本人確認書類を持参することにより、館内閲覧と複写サービスの利用を可能としている。利用方法について、ホームページ上で公開している。

(3) 浦安キャンパス学術メディアセンター

- ①正門脇の校舎の1・2階部分にあり、1階には、一般教養図書・新書・新着雑誌・視聴覚資料・辞典類・新聞の書架と、閲覧室、事務室があり、2階には、専門図書の書架と製本雑誌の移動式書架がある。
- ②1階の閲覧スペースには、閲覧席60席、個人用キャレル15席（全席PC完備）を設置している。AV室には、個人視聴ブース3台、グループ視聴席6席、個人用キャレル9席、大型ディスプレイ、DVD・VHS再生機を設置している。
- ③2階にも、AV室があり、グループ視聴席10席、個人用キャレル15席、大型ディスプレイ、DVD・VHS再生機を設置している。2階の閲覧スペースは3箇所あり、閲覧用席24席、個人用キャレル10席、個人用ブース12席、PC用10席を設置している。
- ④看護学生が臨地実習で利用している順天堂医院、浦安病院、順天堂越谷病院、順天堂東京江東高齢者医療センター、練馬病院には実習用図書を設置している。

(4) 三島キャンパス学術メディアセンター

- ①校舎2階にあり、入口付近にはカウンターと事務室があり、奥には雑誌架・書架・移動書架がある。書架の傍らに学習用机、閲覧用椅子を設置している。
- ②センター内には28台のPCが設置されており、うち2台が検索用、3台が職員業務用となっている。学習用机には電源があり、校舎全体に無線LANが設置してあり、利用者持参のPCを使用することができる。
- ③災害時の安否確認のため、学生が入館時に自身の在室を示すマグネットを貼り付けるホワイトボードを設置している。

8) 2015(平成27)年度のスタッフ配置及び利用状況は次表のとおりである。

キャンパス	専任スタッフ	非常勤スタッフ	開館日数	入館者数	貸出冊数(1日平均)
本郷	6(5)	3(1)	332	76,012	4,943(14.9)
さくら	2(2)	2(1)	274	52,798	3,542(12.9)
浦安	1(1)	2(1)	256	42,877	5,082(19.9)
三島	1(1)	0(0)	275	44,129	5,028(18.3)

※スタッフ数の()は司書数

9) 開館時間は、次表のとおりである。

キャンパス	平日	土曜日	第二土曜日	日曜日
本郷	8:30-23:00	8:30-19:00	8:30-17:00	13:00-17:00
さくら	9:00-21:40	9:00-17:00	休館	休館
浦安	9:00-21:00	9:00-17:00	休館	休館
三島	9:00-20:00	9:00-17:00	休館	休館

第7章 教育研究等環境

10) 閲覧室の座席数は、次表のとおりである。

キャンパス	座席数	座席数/収容定員(%)
本郷	179	13.2
さくら	156	11.5
浦安	194	23.0
三島	67	14.0

11) 利用者には「学術メディアセンター利用カード」を作成し、入館及び貸出に供している。

各キャンパスで共通に利用でき、貸出冊数、貸出期限は一人5冊以内、2週間以内である。

12) 学術メディアセンターのホームページからアクセスできる雑誌及び電子ジャーナルは、海外21社、国内6社と契約している。Webを介してのデータベースは、「PubMed」、「医中誌Web」、「CiNii」、「Web of Science」、「JCR Web」、「Scopus」、「ClinicalKey」、「ProQuest Central」、「UpToDate Web」、「メディカルオンライン」、「メディカルファインダー」、「今日の診療Web版」、「Cochrane Library」、「最新看護索引Web」、「Academic Search Elite」、「SPORTDiscus」、「CINAHL Plus」、「Procedures CONSULT」等が利用できる。そして、「Harrison's Online」をはじめ約3,000冊の自然科学分野の電子ブックが利用でき、文献管理ソフト「EndNote Web」、「RefWorks」も導入されており、学術情報への環境が整備されている。

13) 資料の相互貸借サービスは、国立情報学研究所NIIのNACSIS-ILLに参加し、文献の入手と提供に努めている。文献複写サービスは、関連病院や卒業生、小規模病院からの受け付けはFAXでの申し込みに対応し提供している。2014(平成26)年度の国内外の教育研究機関との相互利用状況は、次表のとおりである。

キャンパス	依頼件数	受付件数
本郷	1,973	1,461
さくら	186	196
浦安	344	103
三島	180	2

14) 明治大学中央図書館や文京区の5医学図書館間(東京大学、東京医科歯科大学、日本医科大学、文京学院大学、順天堂大学)と相互協力協定を締結し、相互に情報サービスの円滑化を図っている。

15) 本郷・お茶の水キャンパスでは、2011(平成23)年より機関リポジトリを構築し、学位論文の本文及び要旨をインターネット上に公開している。

(4) 教育研究等を支援する環境や条件は適切に整備されているか。

【評価の視点】

- ・ティーチング・アシスタント(TA)・リサーチ・アシスタント(RA)・技術スタッフなど教育研究支援体制の整備
- ・教員の研究費・研究室および研究専念時間の確保

1) 本学は、大学院研究科に在籍する学生のうち成績優秀な者を、本学の学部学生や修士課程の学生に対する授業等におけるティーチング・アシスタントとして雇用している。この制度は、授業の質の向上、将来の大学教員の養成及び大学院生の経済的支援の3つの観点から設けら

第7章 教育研究等環境

れたものである。2015（平成 27）年度は 34 人を任用している。

（資料 7-18 順天堂大学ティーチング・アシスタントに関する規程）

- 2) 2012（平成 24）年の 8 月より、年俸制契約職員としてリサーチ・アドミニストレーター 2 名を雇用し、研究者が研究に専念できる環境の実現を目指している。なお、本学では順天堂大学リサーチ・アドミニストレーターのアルファベット頭文字から JURA と略称している。

（資料 7-19 順天堂だより 「No. 267」 p. 13-15）

- 3) 申請に基づき審査を経て交付される学内公募型の研究費として 2001（平成 13）年度から学長特別共同プロジェクト研究費を交付している。本研究費は、学部・研究科間の学際的な共同研究を促進することを目指しており、研究組織に必ず他学部・他研究科の教員を含むように条件を課している。また、研究代表者の職位により審査区分を分け、前任准教授・准教授・講師を対象とした区分を A 枠、助教・助手・ポストドクター・大学院生を対象とした区分を B 枠とし、公平な競争が行われるよう一定の配慮を行っている。なお、女性研究者については申請資格を緩和し、教授職の身分を持つ者でも研究代表者として申請可能とするなど一定の配慮を行っている。申請、採択状況は次のとおりである。

区分	2015（平成 27）年度		
	申請数	採択数	配分金額
A 枠	12 件	7 件	4,600 千円
B 枠	33 件	12 件	8,200 千円
合計	45 件	19 件	12,800 千円

- 4) 全学的な視点から教育の内容及び体制の改善等の教育改革に取り組む優れたプロジェクトを支援するために、2013（平成 25）年度に学長教育改善プロジェクト費を新設した。本プロジェクトの予算は学長裁量経費として別枠で確保し、2015（平成 27）年度は、学内公募により集めた 15 件の提案のなかから、優れた改善効果が期待される 6 件の提案を採択した。

（資料 7-20 平成 27 年度 学長教育改善プロジェクトの募集について）

- 5) 研究者主導型臨床研究の支援を行い、附属 6 病院 GCP センターとの連携を深めるため、臨床研究支援センターを設置して「順天堂大学臨床研究支援センター運営内規」並びに関連運営要領を整備している。生物統計専門家、データマネージャー、CRC（Clinical Research Coordinator）などの人員を擁して、教育研修、研究者主導臨床研究の統計支援、データ管理、モニタリング及び監査の管理などを行っている。教育研修においては、学部・大学院での講義を通じて研究者主導試験に携わる医師・コメディカル・看護師に対する生物統計に関する教育、統計的コンサルティングを行っている。

（資料 7-21 順天堂大学臨床研究支援センター運営内規）

- 6) 大学院医学研究科には、特定の専門分野に特化し、高度な教育と研究の機能を有する附属研究所として、アトピー疾患研究センター（1998（平成 10）年開設）、老人性疾患病態・治療研究センター（2000（平成 12）年開設）、環境医学研究所（2002（平成 14）年開設）、感染制御科学研究センター（2003（平成 15）年開設）、スポーツロジックセンター（2007（平成 19）年開設）、先導的がん医療開発研究センター（2013（平成 25）年開設）、ゲノム・再生医療センター（2013（平成 25）年開設）、静岡災害医学研究センター（2015（平成 27）年開設）の 8 つの研究センター・研究所が設置されている。各研究センターには専任の教員を配属し、

第7章 教育研究等環境

教員と共同して研究プロジェクトを推進するポストドクターや教員の指示のもとに研究を補助するリサーチ・アシスタントの受入れを積極的に行っている。

(資料7-9 平成27年度 事業報告書 「3. 大学院附属研究センター及び大学附属研究センター」)

- 7) 先端的教育・研究の支援活動を行う学内共同利用施設として、疾患モデル研究センター(1998(平成10)年開設)、研究基盤センター(2003(平成15)年開設)の2つの研究支援センターが設置されている。疾患モデル研究センターは、医学研究及び医学教育に欠かせない動物実験を行う施設として整備され、動物の種類に応じ特定飼育区画・特定網室の拡散防止措置を設けるなど適切な管理体制が敷かれている。研究基盤センターは、研究支援機能を持った中核施設として位置付け、異分野の研究者が協力し、幅広い視野にたった目的・目標を立て学際的なテーマで学問・研究を進展させていく場となるよう、また多様な研究分野に対する支援と研究成果を社会へ還元する発信基地として整備されている。

(資料7-22 順天堂大学動物実験等管理規則)

(資料7-23 研究施設の概要 2015)

- 8) 大学院スポーツ健康科学研究科には、2006(平成18)年12月に文部科学省補助金により「スポーツ健康医科学研究所(ハイテク・リサーチ・センター)」が設置されている。子どもの健康づくりのためのスポーツ医科学研究拠点の形成をテーマに、発育発達期にある子どもたちの身体活動・運動が疾病予防や改善及び心身の障害に亘る健康に対しどのような影響を与えているかなど、医学研究科・医療看護学研究科も参画した最先端の研究開発プロジェクトを実施している。また、2014(平成26)年8月に文部科学省私立大学戦略的研究基盤形成支援事業の採択を受けて、「女性スポーツ研究センター」が設置され、女性スポーツに特化した研究が展開されている。

- 9) 各学部・研究科では、教育・研究上の特性を考慮し、研究費配分に留まらず、学部・研究科独自のプロジェクト研究等の各種取組みを行っている。また、授業時間割及び定例会議開催日時を配慮し、研究に専念できる時間を確保できるようにしている。

(資料7-24 各学部・研究科の教育研究等を支援する取組み)

- 10) 研究室については、原則として、教授には個人研究室を、准教授以下の教員には共同研究室を整備している。全学を挙げて分野融合型の共同研究を推進するため、共同研究施設である各研究センター・研究所を設置している。

(5) 研究倫理を遵守するために必要な措置をとっているか。

【評価の視点】

- ・研究倫理に関する学内規程の整備状況
- ・研究倫理に関する学内審査機関の設置・運営の適切性

- 1) 本学は、学術研究活動を行う上で研究者として守るべき行動の基準を明らかにし、自律的な行動を促すため「順天堂大学における学術研究活動に係る行動規範」を制定している。学生を含むすべての研究者に対し、この規程において自らの主体的な判断に基づく研究活動は、社会からの信頼と負託を前提として初めて社会的認知を得ることを理解させ、科学技術の発展には社会との対話が不可欠であるとし研究者に科学と社会との健全な関係構築を促している。

第7章 教育研究等環境

(資料7-25 順天堂大学における学術研究活動に係る行動規範)

- 2) 「順天堂大学における学術研究活動に係る行動規範」において示された倫理的基準を逸脱した行為が研究者に認められた場合、大学として取るべき手続きと再発防止への取組を定めた規程として、「順天堂大学における学術研究活動に係る不正行為の防止等に関する規程」を制定している。なお、2014(平成26)年2月18日付けで改正された文部科学省「研究機関における公的研究費の管理・監査のガイドライン(実施基準)」(施行日:平成26年4月1日)及び平成26年8月26日付けで制定された文部科学省「研究活動における不正行為への対応等に関するガイドライン」(施行日:平成27年4月1日)に対応するため当該規程を2015(平成27)年4月1日付けで改正した。改正内容の主な点として次の3点が挙げられる。

- (1) 組織としての責任体制の体系化を図る
- (2) 不正行為の申立て受付
- (3) 不正行為事案の調査に関する規定の制定

(資料7-26 順天堂大学における学術研究活動に係る不正行為の防止等に関する規程)

- 3) 本学では研究者に利益相反の開示・報告を義務付け、利益相反マネジメント委員会により検討・審議を行う体制を構築している。なお、人を対象とする医学研究の実施時には、研究者に個人の収益等の当該研究に係る利益相反について自己申告を義務付け、医学系研究利益相反マネジメント委員会の審査を受けることを規定すべく新たに「順天堂大学医学系研究利益相反マネジメント規程」を制定した。

(資料7-27 順天堂大学医学系研究利益相反マネジメント規程)

- 4) 人を対象とする医学系研究については、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」(平成26年文部科学省・厚生労働省告示第3号。以下「本指針」という。)で求められている医学系研究の実施のため「人を対象とする医学系研究に関する倫理規程」を2015(平成27)年4月1日付けで制定し、当該規程に関連するモニタリング・監査の手順書等を整備している。

(資料7-28 人を対象とする医学系研究に関する倫理規程)

- 5) 臨床研究においては、被験者の福利に対する配慮が科学的及び社会的利益よりも優先されなければならないことから、国が定めた倫理指針に基づき研究機関の倫理審査委員会が研究計画の適否について判断しなければならない。本学では、医学部・医学研究科に「順天堂大学医学部研究等倫理要綱」、「順天堂大学医学部研究等倫理要綱実施規程」、スポーツ健康科学部・スポーツ健康科学研究科に「順天堂大学大学院スポーツ健康科学研究科研究等倫理要綱」、「順天堂大学大学院スポーツ健康科学研究科研究等倫理要綱実施規程」、「順天堂大学スポーツ健康科学部研究等倫理要綱」、「順天堂大学スポーツ健康科学部研究等倫理要綱実施規程」、医療看護学部・保健看護学部・医療看護学研究科に「順天堂大学看護系大学院研究科及び学部に係る研究等に関する倫理委員会規程」、医学部附属病院に「順天堂大学医学部附属病院倫理委員会内規」を定め、各部門で倫理委員会を開催し事前審査を行うことにより、倫理的妥当性や安全性を確保している。医学部・医学研究科の外部委員は5名、スポーツ健康科学部・スポーツ健康科学研究科の外部委員は2名、医療看護学部・医療看護学研究科の外部委員は1名・学部外委員2名(浦安病院教授・保健看護学部准教授)、保健看護学部の学外委員は1名・学部外委員1名(静岡病院教授)である。

(資料7-29 順天堂大学医学部研究等倫理要綱)

(資料7-30 順天堂大学医学部研究等倫理要綱実施規程)

第7章 教育研究等環境

(資料7-31 順天堂大学大学院スポーツ健康科学研究科研究等倫理要綱)

(資料7-32 順天堂大学大学院スポーツ健康科学研究科研究等倫理要綱実施規程)

(資料7-33 順天堂大学スポーツ健康科学部研究等倫理要綱)

(資料7-34 順天堂大学スポーツ健康科学部研究等倫理要綱実施規程)

(資料7-35 順天堂大学看護系大学院研究科及び学部に係る研究等に関する倫理委員会規程)

(資料7-36 順天堂大学医学部附属病院倫理委員会内規)

6) 競争的資金等の運営・管理に関わる全ての構成員に、自らのどのような行為が不正に当たるのかを理解させるため、コンプライアンス教育(機関の不正対策に関する方針及びルール等)を実施することが文部科学省「研究機関における公的研究費の管理・監査のガイドライン(実施基準)」で求められている。これを受けて本学では2015(平成27)年4月1日付けで「順天堂大学研究倫理に係る教育・研修要領」を制定した。倫理研修は年1回又は数回実施し、ガイドラインにおいて推奨されている e-learning による倫理教育プログラム(CITI Japan Program)を導入し、競争的資金等の運営・管理に関わる全ての構成員に対し受講を義務とした。

(資料7-37 順天堂大学研究倫理に係る教育・研修要領)

7) 医学部・医学研究科では、研究ノート等の活用により、研究・調査データを記録保存するとともにデータの厳正な取扱いを徹底し、不正行為(ねつ造・改ざん・盗用等)の防止に努めている。

8) 各学部・研究科では、研究倫理も含め、倫理教育について、計26の授業科目を開講している。

(資料7-38 各学部・研究科における倫理に関する科目一覧)

9) 医学研究科では、「順天堂大学大学院医学研究科・研究ガイドライン」も整備し、大学院における研究倫理の普及・啓発を図っている。

(資料7-39 順天堂大学大学院医学研究科・研究ガイドライン)

2. 点検・評価

[基準7]

大学は、学生の学修ならびに教員による教育研究活動を必要かつ十分に行えるよう、学習環境や教育研究環境を整備し、これを適切に管理運営しなければならない。

●基準7の充足状況

大学キャンパス・ホスピタル再編事業が順調に進捗している。大学の校地・校舎面積は大学設置基準を満たし、建物の耐震化も進んでいる。ラウンドシェル型教室、形態系実習室、ラーニングコモンズ等の整備も行われた。「順天堂大学 ICT 化戦略」に基づき ICT 化教育基盤整備が進められ、図書館、学術情報サービスも充実が図られ、学生・教員の利便性を向上させている。

文部科学省の補助金を活用して、最先端の装置・設備を導入しており、持続的に教育研究成果を生み出せるようにしている。URA等の研究支援専門職を配し、研究者が研究に専念できる環境を整備している。TAやRAも雇用されており、教育研究支援体制の整備が進められている。各種プロジェクト研究が公募され、共同研究を推奨する仕組みが出来ている。研究倫理に関する各種規程が整備され、学内審査が適切に運営されている。以上のことから、基準を満たしている。

①効果があがっている事項

《大学キャンパス・ホスピタル再編事業について》

- 1) 大学キャンパス・ホスピタル再編事業は、2015（平成 27）年度で 8 年を経過したが、当初方針の通り原資を手元資金で賄うことにより、財務状況に影響を与えることなく順調に推移している。本郷・お茶の水キャンパスにおいては、1 号館・4 号館・B 棟・C 棟・D 棟を「病院ゾーン」、10 号館・A 棟を「研究・実習ゾーン」、センチュリータワー・第 2 教育棟（仮称）を「法人本郷・教育ゾーン」に位置づけ、計画通り整備事業が行われており、延床面積は、昭和 62 年の本館（1 号館）建設前に比し、2015（平成 27）年度には、3 倍となる。

（資料 7-40 本郷・お茶の水キャンパス再編事業構想図）

（資料 7-41 本郷・お茶の水キャンパス延床面積の推移）

《施設・設備の維持管理について》

- 1) 積極的な省エネ投資計画を実施中であり、単位床面積当たりの CO₂ 排出量は減少している。
- 2) 大学キャンパス・ホスピタル再編事業により本郷・お茶の水キャンパスの大学用途建物群における旧耐震建物は（当初 4 棟）は、すべて更新される。

（資料 7-42 設備投資による CO₂ 削減計画）

（資料 7-43 エネルギーの使用に係る原単位の推移）

（資料 7-44 主要建物の耐震化状況（本郷・お茶の水キャンパス））

《教育研究環境の整備について》

- 1) 競争的資金の獲得戦略の立案、補助金の申請書作成、研究成果の広報等の業務を研究者と連携して行うリサーチ・アドミニストレーター職の導入は、研究者の研究活動時間の確保と科学研究費助成事業をはじめとした公的研究費等の外部資金の獲得に効果を発揮している。

（資料 7-45 順天堂だより 「No. 279」 p. 7）

- 2) 臨床研究支援センターでは、研究者主導型臨床研究の推進を支援している。SPIRITS-J 研究では News Letter を毎月発行している。2 年次症例報告書のデータ解析を行い、第 80 回日本循環器学会（2016（平成 28）年 3 月 20 日）にてコホート研究として発表した。3 年次症例報告書の回収は 77% となっている。TTT 研究は、2015（平成 27）年 10 月 8 日に 11 参加施設 491 症例（目標症例の 74.4%）で最終登録を締切り、データ解析を行っている。REFRAIN-J 研究は、予定 200 症例のところ 176 症例でデータ収集完了し、支援取下げとなった。RAFFINE 研究では News Letter を発行し（第 6 号～第 12 号）、第 4 回と第 5 回参加施設ミーティングを開催した（2015（平成 27）年 6 月 13 日、9 月 4 日）。2015（平成 27）年 12 月 31 日で同意取得を終了し、症例登録数は、目標症例数の 97.2% に達した。登録完了後に解析を開始する予定である。その他 5 件の研究支援を始めている。米国 Vanderbilt 大学で開発された Research studies 用の web-based eDC system である REDCap システムを導入し、データ集積管理支援を行っている。また、医療情報端末 2 台を設置し、臨床研究の CRC 業務支援を行っている。

（資料 7-46 臨床研究支援センター月例会議資料（2016 年 3 月）支援研究進捗状況）

- 3) 2015（平成 27）年 10 月 7 日、センチュリータワー南棟 11 階に医療スキルや多職種間でのチーム医療のトレーニングを目的とする「Juntendo Medical & Technology Simulation Center」を開所した。

第7章 教育研究等環境

《ICT 教育研究基盤整備について》

- 1) 「順天堂大学 ICT 化戦略」に沿って、2009（平成 21）年度取得のセンチュリータワーを本郷・お茶の水キャンパスにおける教学部門の拠点として ICT 教育研究基盤を整備した。本年度まで遠隔講義システムを継続して整備し、5 学部 6 附属病院が海外へ向けて教育・研究・医療の情報発信が行える環境となった。この積極的な取り組みにより、学内外・国内外へ向けた教育・研究・医療の情報交流及び発信の機会が増えている。また、大学教職員及び学生の情報交流促進のためポータルサイトであるポートフォリオシステムを 2012（平成 24）年にさくらキャンパス及び浦安キャンパスに、2014 年（平成 26）年に本郷・お茶の水キャンパスに導入し教職員・学生間の連携が促進され、窓口対応負荷も軽減されて業務効率化に繋がった。また、更なる連携推進のために、三島キャンパスにもポートフォリオシステムを導入した（運用は 2016（平成 28）年 4 月より）。

（資料 7-47 順天堂遠隔会議実施実績）

（資料 7-48 ポータルサイト・ポートフォリオシステム実績）

《各学部・研究科における教育研究等環境》

- 1) スポーツ健康科学部では、2014（平成 26）年 3 月グループ学習・自己学習効果を高めることを目的として、学術メディアセンター 2 階に、ラーニング・コモンズスペースを整備し、1 階会議室をグループルームとした。
- 2) 医療看護学部では 2015（平成 27）年 12 月に D 棟（大教室棟）及び E 棟（演習室棟）が竣工した。テレビ会議システムを備えた教室・演習室が 3 室増え、浦安キャンパスと本郷・お茶の水キャンパス、三島キャンパスを繋いでの遠隔講義等に活用されている。
- 3) 医療看護学部では、2012（平成 24）年度にマルチメディア教室の PC を 81 台から 103 台に増設しスペックも最新のものに更改し、授業の定員人数分を割り当てることができるようにした。2014（平成 26）年度は、PC のハードディスクを SSD に交換し、処理性能を向上させ学習環境を改善した。また、インターネット回線を 100Mbps から 1Gbps へ増強し、全フロアで無線 LAN を使用できるようネットワーク環境を再整備した。e-ラーニング等の自学自習の環境が整備され、学生の持込み PC・モバイルの機器登録申請数は学生全体の 60%となった。2015（平成 27）年度は、グループ学習・自己学習効果を高めるため、新マルチメディア教室をアクティブ・ラーニングのスペースとして整備し、学生の利用率が向上した。また、分娩介助、参加救急、妊婦ケア演習、乳児の集中治療・ケアなど、周産期医療・小児救急医療についての様々な状況をリアルに再現した高度なシミュレーショントレーニングが行える ICT 教育システムを整備した。
- 4) 国際教養学部では、学生の主体的な学びを支援する言語学習センターを開設時から整備し、自己学習、教員によるカウンセリング、外国語によるコミュニケーションの場として活用されている。
（資料 7-49 言語学習センターの使い方）
- 5) 大学院医学研究科では、2014（平成 26）年 11 月より、CITI Japan ON スクリーン e ラーニング講座に受講登録をし、大学院生においては時間及び場所は問わず、研究倫理について体系的に学ぶことができるようにしている。また、より一層、研究倫理について体系的に修得させるため、2015（平成 27）年度より、各課程・学年にて設定したコースの受講を必須とした。

- 6) 大学院医療看護学研究科では、ICTによるテレビ会議システムの導入により浦安キャンパス、本郷・お茶の水キャンパス、三島キャンパスの3拠点において遠隔講義を実施できる環境を整備し、相互に受講できる仕組みを取り入れている。
- 7) 大学院医療看護学研究科、医療看護学部及び保健看護学部では、2014（平成26）年4月、大学院医療看護学研究科博士後期課程開設及び博士前期課程の三島キャンパスでの開講にあわせて、「順天堂大学医療看護学部研究等倫理実施規程」を見直し、「順天堂大学看護系大学院研究科及び学部に係る研究等に関する倫理委員会規程」として制定した。同規程に従い、迅速審査申請が可能な研究については、2014（平成26）年度より迅速審査手続きの運用を開始した。

②改善すべき事項

《施設・設備の維持・管理について》

- 1) 障がいの有無にかかわらず、等しく学び、充実した学生生活を送ることができる環境を整備していく必要がある。車いす対応の動線整備、トイレ環境の充実、バリアフリーマップの整備公表などが当面の具体的課題である。

《教育研究環境の整備について》

- 1) 臨床研究支援センターで支援している研究者主導型臨床研究のうちRAFFINE研究は、約4,000症例の登録を2015（平成27）年3月31日で締切り、データ解析を開始する予定である。TTT研究は既に登録を完了し、500症例弱の解析を実施している。SPIRIRS-J研究も3年次以降の約3,000症例の解析が開始される予定である。一方、解析担当者1名が平成27年度末で退職した為、解析症例数とデータ解析担当人員の乖離が発生する。データ解析担当人員の欠員補充が当面の具体的課題である

（資料7-50 RAFFINE study News Letter 「第12号」）

《ICT教育研究基盤整備について》

- 1) 教職員によるICT機器のより一層の活用が課題である。
- 2) 附属病院の臨床の画像・映像及びデータについて、学生教育への活用に向けた基盤整備が必要である。

3. 将来に向けた発展方策

①効果があがっている事項

《大学キャンパス・ホスピタル再編事業について》

- 1) 今後、本郷地区では、新研究棟（A棟）の建設並びにB棟、C棟完成後の病院機能の移転・再編に伴う1号館外来部門・病棟部門の再編のための改修工事を予定している。

《施設・設備の維持・管理について》

- 1) 省エネを更に推進するために、PDCAサイクルに基づく検証を行っている。細部にわたる実施検証データを基に計画の再検討を行い、投資効果の最適化を図る。
- 2) 残りの旧耐震建物2棟についても、2014（平成26）年度以降に順次更新することが決定しており、キャンパス全体の本学所有建物の耐震化を数年以内に完了させる。

（資料7-44 主要建物の耐震化状況（本郷・お茶の水キャンパス））

第7章 教育研究等環境

《教育研究環境の整備について》

- 1) 本学の研究力が強化されてきた背景には、基礎的・基盤的研究への地道な財政支援と人的支援がある。財政支援は、一律配分型の学内研究費と学内公募型のプロジェクト研究費により行われ、人的支援はリサーチ・アシスタントやポストドクター等の研究補助者の採用により行われてきた。今後は、リサーチ・アドミニストレーターの人数を増やし、助成金募集情報の提供や申請書作成支援に加え、イノベーションの担い手となる若手研究者の発掘や大型プロジェクトの企画立案に、より一層注力するなど、人的支援を拡充していく。
- 2) 臨床研究支援センターで支援している大規模多施設共同研究者主導型臨床研究については、研究会等の開催、ニュースレターの発行により研究登録状況等を報告し、症例登録を促した結果、ほぼ目標に近い症例が登録されている。今後、統計的解析等を行い、学会・論文発表を支援していく。
- 3) 「Juntendo Medical & Technology Simulation Center」では、協力覚書を締結したロシアのカザン連邦大学、理化学研究所、本学の3機関でシミュレーション機器ソフトや教育プログラムの共同開発を進め、本学の学生、医学部附属6病院の医療スタッフはもとより、アジアをはじめとする諸外国の医療機関に対してもシミュレーショントレーニングの機会を積極的に提供していく。

《ICT 教育研究基盤整備について》

- 1) 遠隔システムの臨床現場への適用を積極的に図っていく。手術室やカンファレンス室から国内外の教育・研究機関に最先端医療を発信する環境を活用していく。これにより学生教育用コンテンツの蓄積にもつながる。ポर्टフォリオシステムについては、全学展開が完了し、更なる教職員業務効率化を図っていく。

《各学部・研究科における教育研究等環境》

- 1) スポーツ健康科学部では、学術メディアセンターのラーニング・コモンズスペース、グループルーム活用法を周知し、学習効果を高める取組みを行う。
- 2) 医療看護学部では、2015(平成27)年12月にD棟(大教室棟)及びE棟(演習室棟)が竣工し教室が2室、演習室が9室新たに整備された。演習やグループワーク等のアクティブ・ラーニングを積極的に取り入れ、学生の主体的な学修を更に支援していく。
- 3) 医療看護学部では、引き続き、ICT教育環境の整備を進め、教員FDとともにICTを駆使した教育により、一層の教育効果を上げられるようにする。
- 4) 国際教養学部では、言語学習センターでの学生の自己学習、教員によるカウンセリング、外国語の課外授業の充実を図るとともに、今後、e-learning教材や多読用書籍等を増やし、学生の主体的な学びを更に支援していく。
- 5) 大学院医学研究科では、CITI Japan ON スクリーン eラーニング講座について、各課程・学年にてコースを設定しているが、各課程・学年に関係なく、研究を進めていく上で必要な単元(必須、オプションを問わず)については積極的に受講するよう促していく。
- 6) 大学院医療看護学研究科では、ICTによる遠隔講義を実施することにより、静岡病院・保健看護学部を含む静岡県地区での大学院進学希望者にとって学修しやすい環境となった。今後は、遠隔講義に対応した講義を増やすことにより、大学院生の受講機会の増加及び時間的・経済的負担軽減を図っていく。
- 7) 大学院医療看護学研究科、医療看護学部及び保健看護学部では、「順天堂大学看護系大学院

研究科及び学部に係る研究等に関する倫理委員会規程」に基づき、スムーズな倫理審査を行い、研究活動を活性化させる。また、大学院医療看護学研究科においては、CITI Japan ON スクリーン e ラーニング講座受講を推進し、研究倫理について体系的に修得させる。

②改善すべき事項

《施設・設備の維持・管理について》

- 1) 適宜バリアフリー対策チームを編成し、施設ラウンドを実施しており、バリアとなっている場所を特定し、順次施工している。

《教育研究環境の整備について》

- 1) 臨床支援研究センターで支援している大規模多施設共同研究者主導型臨床研究の統計解析支援業務量増大に伴い、欠員となっている解析担当職員の補充と解析業務スケジュールの最適化を目指す。

《ICT 教育研究基盤整備について》

- 1) 大学の講義環境のモバイル化、ペーパーレス化を図り、デジタルコンテンツを活用するため、既存の資料配布システム等の教職員による活用を推進していく。
- 2) 附属病院の臨床データの統計解析を行える BI (Business Intelligence) ツールを導入し、学生教育への臨床データ活用基盤の整備を図っていく。病院に蓄積されたデータを活用することにより、学生教育の質の向上と臨床現場へのフィードバックによる、診療の質の向上を目指す。

第 7 章 教育研究等環境

4. 根拠資料

根拠資料No.	各部署の資料整理No.	資料名称
資料 7-1	再編 7-1	順天堂だより 「No.254 号」、「No.256 号」、「2013 新春特別号 No.268 号」
資料 7-2	研推 7-1	平成 27 年度 予算編成方針
資料 7-3	情 7-1	順天堂大学 ICT 化戦略
資料 7-4	総務 7-1	各学部・研究科の教育研究等環境整備方針
資料 7-5	再編 7-2	平成 23 年度 事業報告書
資料 7-6	再編 7-3	平成 24 年度 事業報告書
資料 7-7	再編 7-4	平成 25 年度 事業報告書
資料 7-8	再編 7-5	平成 26 年度 事業報告書
資料 7-9	再編 7-6	平成 27 年度 事業報告書 (既出 資料 2-2、資料 4-4-2)
資料 7-10	管財 7-1	校地、校舎、講義室・演習室等の面積 (基準日: 2016 年 3 月 31 日)
資料 7-11	研推 7-2	平成 27 年度 教育・研究装置及び教育基盤・研究設備一覧
資料 7-12	総務 7-2	各学部・研究科の教育研究等環境整備概要
資料 7-13	学メ 7-1	本郷・お茶の水キャンパス学術メディアセンター利用案内
資料 7-14	学メ 7-2	さくらキャンパス学術メディアセンター利用案内
資料 7-15	学メ 7-3	浦安キャンパス学術メディアセンター利用案内
資料 7-16	学メ 7-4	三島キャンパス学術メディアセンター利用案内
資料 7-17	学メ 7-5	図書、資料の所蔵数及び受け入れ状況
資料 7-18	研推 7-3	順天堂大学ティーチング・アシスタントに関する規程 (既出 資料 3-25)
資料 7-19	研推 7-4	順天堂だより 「No. 267」 p. 13-15
資料 7-20	I R 7-1	平成 27 年度 学長教育改善プロジェクトの募集について (既出 資料 4-3-39)
資料 7-21	臨支 7-1	順天堂大学臨床研究支援センター運営内規
資料 7-22	研推 7-5	順天堂大学動物実験等管理規則
資料 7-23	研推 7-6	研究施設の概要 2015 (既出 資料 2-9)
資料 7-24	総務 7-3	各学部・研究科の教育研究等を支援する取組み
資料 7-25	研推 7-7	順天堂大学における学術研究活動に係る行動規範
資料 7-26	研推 7-8	順天堂大学における学術研究活動に係る不正行為の防止等に関する規程
資料 7-27	研推 7-9	順天堂大学医学系研究利益相反マネジメント規程
資料 7-28	研推 7-10	人を対象とする医学系研究に関する倫理規程
資料 7-29	研推 7-11	順天堂大学医学部研究等倫理要綱
資料 7-30	研推 7-12	順天堂大学医学部研究等倫理要綱実施規程
資料 7-31	研推 7-13	順天堂大学大学院スポーツ健康科学研究科研究等倫理要綱
資料 7-32	研推 7-14	順天堂大学大学院スポーツ健康科学研究科研究等倫理要綱実施規程

第 7 章 教育研究等環境

根拠資料No.	各部署の 資料整理No.	資料名称
資料 7-33	研推 7-15	順天堂大学スポーツ健康科学部研究等倫理要綱
資料 7-34	研推 7-16	順天堂大学スポーツ健康科学部研究等倫理要綱実施規程
資料 7-35	研推 7-17	順天堂大学看護系大学院研究科及び学部に係る研究等に関する倫理委員会規程
資料 7-36	研推 7-18	順天堂大学医学部附属病院倫理委員会内規
資料 7-37	研推 7-19	順天堂大学研究倫理に係る教育・研修要領
資料 7-38	総務 7-4	各学部・研究科における倫理に関する科目一覧
資料 7-39	院医 7-1	順天堂大学大学院医学研究科・研究ガイドライン
資料 7-40	再編 7-7	本郷・お茶の水キャンパス再編事業構想図
資料 7-41	再編 7-8	本郷・お茶の水キャンパス延床面積の推移
資料 7-42	施設 7-1	設備投資による CO2 削減計画
資料 7-43	施設 7-2	エネルギーの使用に係る原単位の推移
資料 7-44	施設 7-3	主要建物の耐震化状況(本郷・お茶の水キャンパス)
資料 7-45	研推 7-20	順天堂だより 「No. 279」 p. 7
資料 7-46	臨支 7-2	臨床研究支援センター月例会議資料(2016年3月)支援研究進捗状況
資料 7-47	情 7-2	順天堂遠隔会議実施実績
資料 7-48	情 7-3	ポータルサイト・ポータルフォリオシステム実績
資料 7-49	国教 7-1	言語学習センターの使い方
資料 7-50	臨支 7-3	RAFFINE study News Letter 「第 12 号」